

新日本製鐵㈱八幡製鐵所 第4高炉改修決定！

新日本製鐵㈱八幡製鐵所では、3月26日(月)、戸畑工場内にある第4高炉の改修を行うことを発表した。

改修工事は、投資額約340億円、平成25年度第4四半期(平成26年1～3月)の85日間で、施工は新日鉄エンジニアリング他が行ない、炉容積は、現状4,250 m³から5,000 m³と約18%拡大される。

第4高炉は、昭和47年7月に最初の火入れ行い、以降2回の改修工事を経て、現行高炉は平成10年2月に稼働している。高炉は通常は15年から20年前後で改修を行っており、改修時期を迎える第4高炉は16年ぶりに改修することになる。

改修にあたっては、投資規模を効率化し、コストミニマム操業を追求した設備仕様とすることで、国際競争に耐え得る鉄源競争力の確保を目指すとしている。

なお、工事期間中の鉄源は、八幡製鐵所以外の鉄源を活用することに加えて、先づくり鋼片(半製品)の備蓄や、可能な品種については社内の他製鐵所からの分譲で対応するとしている。



改修工事を行なう 戸畑第四高炉